

中リハ通信 3 「夜間部2年生Aさんの一日」

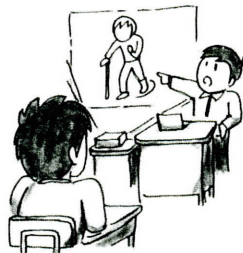
中リハ夜間部の学生さんの一日を追いかけてみましょう。  
 夜間部2年生のAさん、21歳、昼間は看護助手として関連施設でアルバイトをしています。  
 Aさん、よろしくお願ひします。



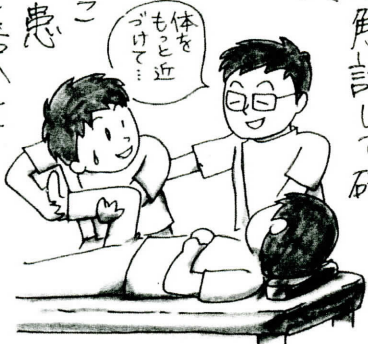
朝、アルバイト先の病院へ出勤です。看護助手としての仕事内容は、主に入院患者さんの身の回りのお世話です。  
 食事や入浴の介助、オムツ交換やトイレでの排泄の介助を行います。  
 中リハに入学した後で紹介してもらった仕事ですが、初めの頃は仕事を覚え、精一杯でした。今では患者さんと楽しく会話しながら働いています。



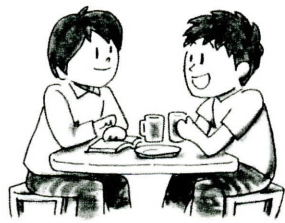
夕方、勤務が終わると、入暮らしの下宿先へいったん戻り、教科書をつめ込んだカバンをかついで学校へむかいます。  
 授業は、1限目17時30分〜19時まで、2限目19時10分〜20時40分までの、一日2コマです。  
 2年生では、具体的な疾患を詳しく学んだり、実技の授業が多くなります。



実技の授業では、手足を動かして関節の様子を確認したり、皮膚の上から筋肉を触診して確認したりと、実際にやってみると、とても難しいものばかりです。  
 でも、学んだことのいくつかが、患者さんの介助に活かせるような内容の勉強は、とても興味深いです。



授業が終わって下宿先へ帰るのは21時過ぎです。  
 一人暮らしなので、時々クラスメイトと晩ご飯を食べながら患者さんのことで語り合ったりしています。



夜間部は1年生から3年生までの期間は、このような生活が続きます。4年生になると本格的な臨床実習が始まりますので、仕事は退職します。  
 臨床実習でみっちり現場を学んだ秋頃からは、いよいよ国家試験に向けての猛勉強が始まります。  
 大変な毎日ですが、とても充実した生活を送っています。  
 卒業して理学療法士になるために、これからはしっかりと勉強していきます。

